

団体名 白い杖 SOS シグナルをひろめる会広島

当会は、視覚障害者が交通事故や駅ホームから転落をして、列車にはねられるなどの死亡する事故を無くすことを目的に 2016 年 7 月 11 日に発足しました。

広島市文化財団様のご協力のもとに、福祉学習の講演・福祉祭り、公民館祭り、地域でのイベントに参加させていただき白杖 SOS シグナルの啓発活動を実施してまいりました。

当会の活動も、順調に拡大出来たのも、活動資金の 7～8 割を助成いただき、とても感謝しております。

説明会でチラシと説明文を配布しておりましたが、視覚障害者理解を高めていくために「視覚障害者が困ったときにこんな一声・こんな援助が助かります」のカードを作成したり、公共交通機関様のご協力により「視覚障害者との接し方」のチラシを作成させていただきました。

「白杖の日」は、10 月 15 日に広島駅北口自由通路で 2019 年から啓発活動を始めました。ここ数年、コロナ感染拡大によりすべての行事が中止となり、行事に参加させていただく方法では、何もできないと感じました。

「チャリティミュージックフェスティバル」を実施し、当会と視覚障害者の理解を深めていただく事と、「エスコートゾーン」の敷設の協力をしていこうと始めました。

また、視覚障害者が困ったときに、声掛けしやすい環境作りに「暗闇からのプレゼント」というイベントを提案し、公民館・社会福祉協議会「暗闇からの発見」を一般向けと企業向けの二つを当会から提案をさせていただきました。

また、活動に掛かる経費は、寄付と講演料に募金活動を加えて永遠に活動がつながる事を目指していきます。

昨年末「RCC ラジオ チャリティミュージックソン」・今年 3 月 7 日「おひる一な」に出演させていただき、当会の活動をマスコミに取り上げてもらうことで、社会への認知度が高まっていけると思っております。

課題として、一般成人の方の認知度、企業・百貨店・スーパー・ファミリーレストラン等飲食店・銀行等カウンター越しでの接客など、視覚障害者への接し方を PR することで、私達視覚障害者の社会参加と健常者と、ともに楽しく暮らせる世の中になればと願っております。

今後も継続して行く行事は「白杖 SOS シグナル」の啓発活動はもちろんの事、視覚障害者理解と視覚障害者が困ったときに声掛けしやすい環境づくりの活動・「白杖の日」の啓発活動・小中学校対象の福祉学習の講演・公民館祭り・福祉祭り「ワンダふるたパーク」年 2 回参加・フラワーフェスティバル（マーガレットステージ・広島ガスステージ）・市民交流フェスタ・小中学生対象「暗闇からのプレゼント」・一般向け講演、企業向け研修「暗闇からの発見」・チャリティミュージックフェスティバル・「エスコートゾーンの敷設の協力」・「RCC ラジオ チャリティミュージックソン募金の応援」・募金活動を行って行きます。

現在は、広島市内を中心に活動しておりますが、廿日市社会福祉協議会様・海田社会福祉協議会様との係りを保って、市外への広がりを考えております。

広島市文化財団様から、助成金を 2017 年育成部門 1 回とその後発展部門 3 回をいただきました。ありがとうございました。熱く感謝申し上げます。

今回で終了ではございますが、年 2 回～3 回の募金活動を行い、活動内容の充実と、活動範囲を拡大していきます。また、大きなイベントを実施する際には助成金のお願いをさせていただくかもしれませんが、その際にはどうぞよろしく願い申し上げます。

